

観光

大涌谷における交通渋滞について

勝俣 公好

Q 観光シーズンには駐車場へ着くまでに2時間以上かかってしまうことがある。車の排気ガスによる自然環境への悪影響、路線バス、観光バスの遅れ、観光客へのイメージダウン等、大きな問題と考える。大涌谷の交通渋滞の現状等をどのように捉えるか。

A 渋滞の大きな原因としては、休日や行楽シーズンによる交通集中という要因もあるが、ほとんどの車両が大涌谷園地内駐車場への入場待ちの渋滞。交通渋滞の発生による、観光バスなどの運行の遅れは、経済的な損失などが考えられ、早急に解決を図るべき問題であると認識している。

Q 環境先進観光地としてどう捉えるか。

A 交通渋滞の発生による旅行速度の低下は大気汚染物質の排出増加にもつながるので環境先進観光地を標榜する本町として、交通渋滞対策は、環境負荷の軽減を図る上でも、重要



大涌谷渋滞の様子

な施策である。

Q 長野県上高地のように、営業車のみを導入させる方法を含め、今後の交通渋滞対策は。

A 箱根大涌谷パーク&ライドの実施、駐車待機レーン設置社会実験を実施するなど、大涌谷の渋滞対策のための諸施策を展開してきた。また、交通渋滞の大きな要因である駐車場問題については、新たに14台から15台が駐車できる大型バス専用の駐車場の設置が予定されている。具体的に上高地方式という提案をいただいたが、これまで社会実験を行ってきた施策の本格的な導入も含め、今後の状況もよく検証し、関係機関と協議していきたい。

Q 国や地方自治体相互間の緊密な協力、連携が必要で。国と地方の職員間のネットワークの構築による防災体制について伺う。

A 平成25年度より内閣府が、地方の防災エキスパートを育成する事業を始める。具体的には、大規模災害時における国の緊急災害本部との連携、発災時の的確な応援方法や救援を受ける際の正しい有り方

防災

施政方針について

村野 由紀子

Q 一番大切なのは地域防災力の向上であり、自助・共助・公助が補完し合う防災力の強化であると思えます。ご近所向こう三軒両隣の再生を最優先課題とした取り組みを伺う。

A 防災隣組と近所の精神をテーマとした、防災講演会を開催するなど住民の皆さんの防災意識の高揚を図ると共にコミュニティの重要性について再認識して頂きたいと思っています。

Q 消防活動を展開するためには安全性の向上が大切です。基本的な有り方や考え方を伺う。

A 消防職員・消防団員の二次災害防止対策は最大の課題。消火活動時の熱や炎などから隊員を守る防災服などの整備、消防設備の整備や老朽化した消防ポンプ自動車や小型動力ポンプなどを更新し消防活動体制の充実を図る。

Q ウォーキングのネットワークについて提言を受けてどの様な姿勢で臨むか、関連する企業や商店及び観光事業者を網羅した支援組織をつくる考えはあるか。

A スポーツツーリズムを町の更なる観光振興のツールとして活用しながら、今回提言を活かし、国際観光地として今後もますます発展していくよう観光や環境教育などの施策を推進していく。

観光

ハイキングコースに係る基本的な考え方及び今後の方針について

村上 東司

Q 箱根をウォーキングのメッカとしていくための提言をどう受け止めたか。

A 各団体が健康増進を目的に様々なイベントを行っている。生涯スポーツ活動の充実や地域の活性化に寄与する重要な活動と考えている。提言の趣旨は賛同出来る。

Q 町の観光事業の推進にこの提言を生かす考えがあるか、町の健康と観光及び町民協働に関する全体の考えについて

A 目的に応じて各種協議会・協会等が設置されていることから、国立公園の運営という意味で環境省に支援組織の設立を求めていきたい。

Q スポーツツーリズムを町の更なる観光振興のツールとして活用しながら、今回提言を活かし、国際観光地として今後もますます発展していくよう観光や環境教育などの施策を推進していく。

目的に応じて各種協議会・協会等が設置されていることから、国立公園の運営という意味で環境省に支援組織の設立を求めていきたい。



ハイキングコース